



**ALL JAPAN HIPHOP DANCE  
CHAMPIONSHIP**

メガ・クルー (MEGA CREW)  
大会規約・規定  
<2013年改訂版>

**HHI JAPAN**

東京都世田谷区玉川3丁目1番18-1308

TEL 080-9271-4798 FAX 03-3708-4078

[info@hhi-japan.com](mailto:info@hhi-japan.com) <http://www.hhi-japan.com>

## MEGAクルー

**年齢制限** 年齢制限はありません。年齢の組み合わせも自由です。

### チームの構成

1. 1チーム、15人～40人で構成されていること。
2. 男女の比率：男性だけのチーム、女性だけのチーム、男女混合チームいずれでも可能です。

### メンバーの変更

1. 病気、怪我等やむおえない理由でメンバー変更を行う場合は、必ず事前に大会主催者側に連絡をして許可を取ること。
2. メンバー変更及び補欠要員は最大5人の代役が可能です。  
その場合はメガ・クルーの人数が15人を下回らないようにしてください。

### 演技に関する規定

**演技エリア** 左右に12'×8' (約3.7m×2.4m)のそでがある約12.2メートル四方  
\*会場の都合でサイズ変更することがありますが、その場合は事前に事務局より連絡がいきます。

**演技時間** ルーティンの時間は3分30秒(03:30)とします。±30秒の猶予期間が認められているため、  
演技時間は最低3分から最高4分になります。6秒～10秒不足のとき、-0.5、10秒過多は-0.5

演技は以下の順番で行うものとする。

- 予選：ランダム順
- 決勝：予選のスコア

**審査規定** HHI (HIPHOP INTERNATIONAL) が定めたルール規定に基づくものとする。  
※ルール参照

### 服装&小道具に関する規定

1. 衣装は、パフォーマンスの特徴およびスタイルを反映する衣装を着用すること。  
\*实在人物が着ていたものや、実際に街中で着用されているストーリーとファッションが反映されているスタイルであること。  
\*レース、紐等が多く付いている物、裾をひきずるような物等、危険や迷惑が想定される物は減点となります。
2. メンバー全員が揃った服又は似たタイプの物を着用している必要はありません。
3. 個性的な服装は、励まされます。
4. 舞台衣装は、ストリートファッションとしては推薦できません。
5. 帽子 (ハット)、キャップ、手袋、スカーフ、アクセサリも、衣装としてみとめます。
6. パフォーマンス中に衣類を取り除いていくことは可能です。ただし、脱ぎ捨てた衣類は、演技エリアの外に置くようにしてください。ステージ上から観客に向かって投げることは禁じます。舞台袖に放り投げる事も禁じます。
7. 過激なもの、危険を伴うもの (尖った金属等が付着しているもの) やキャラクター商品の着用は避けること。

8. 小道具の使用は許可されます。小道具は小さく、手に持てる物、移動が簡単な物及び衣装と演技に必要と考えられるもの、関連性のあるものは使用可能です。危険が伴うと予測ができる小道具（椅子、梯子、背景幕、家具等）の使用は禁止します。この場合は-1.0の減点。
  9. 膝あて、は動きの安全性とパフォーマンスを援助するものの装着は可能です。
  10. 靴使用可能：ダンス/STOMPシューズ、ストリートブーツ、運動靴。  
使用禁止：タップシューズ、ハイヒール、素足、下駄、雪駄、草履、足袋、等。
  11. 顔全体の行き過ぎたメイク、ボディオイル、ボディーペイント、身体および髪の毛のラメ等の使用は、禁止。
  12. ヘルメットはパフォーマンスの中で、ヘッドスピンなど必要なパフォーマンスの時だけ着用終わったら、エリア外に置きパフォーマンスを行う。
  13. 上半身裸や、露出度の高いものはNG、減点対象になります。  
※注：参加者同士の安全性を守るためにも舞台上が常に清潔で乾燥した状態が保たれるよう心がけてください。  
※注：靴は常に清潔な状態で使用してください。泥まみれ等床を汚すことは避けてください。  
※注：その他、床面を傷つけるような靴の使用及び行為は禁止します。
- HHIは小道具が演技に意外性や創造性を持たせることができると認めています。小道具が規定に沿うものかはE-mailで事務局に確認すること ([info@hhi-japan.com](mailto:info@hhi-japan.com) <http://www.hhi-japan.com> )。秘密厳守とします。

## 音楽に関する規定

1. 各自（各チーム）が用意した音楽を使用します。大会主催者側からの音楽の指定、提供はありません。
2. パフォーマンスでの使用する音源は、必ずCDで録音し提出下さい。  
※注：万が一に備え、音源は必ず一部コピーをご用意ください。
3. 提出する音源には必ず①出場クラス、②チーム名をケースと中身の両方に明記してください。
4. 使用音楽の曲数の規制はありません。歌、音楽は振り付けと個人パフォーマンスを強化するための編集されるものと考えます。
5. オリジナルの効果音やオリジナル音楽の使用は可能です。但し、注意しなくてはいけないのは効果音や音楽を余り複雑に編集してしまうと却って、パフォーマンスの表現や正確さをそこねて得点的にマイナスの効果を与えることです。
6. 使用音楽は、わいせつ、攻撃的、等不適切な言語を含んではいけません。
7. 世界大会において、決勝に進むチームが予選と決勝で使用する曲を変えることは可能です。その場合、主催者側が指定する時間（決勝開始の10時間前まで）に変更の手続きを行います。時間内に行わなかった場合は曲の変更は認めません。
  - a. 出場者は、使用音楽の情報として以下を大会開催前に主催者に提出しなくてはなりません。
    - a タイトル
    - b アーティスト
    - c 作曲者
    - d 出版社
    - e レコード会社
8. 音楽は、振付や、個人のパフォーマンスを効果的に演出します。ルーティンで使用される音楽は、長すぎるのも短すぎるのもよくありません
9. 著作権の問題から大会で使用した音楽が、テレビ、フィルム、劇場等で配信・上映する際に使用できない場合があります。その場合の曲の選択権利は主催者側に帰属し、主催者側で、著作権的に問題のない曲に差し替えさせていただきます。

## 競技開始に関する規定

1. チームメンバーの全員が舞台上で同時に演技を開始し、演技時間は3分30秒間±30秒（3分から4分）をフルに使うこと。
2. 演技開始は、必ずステージ上で板付きからのスタートになります。ステージ上で開始・終了時、最低30秒間メンバー全員で演技をすること。演技中、メンバーは自由に舞台に出入りできます。
3. 本人たちの意思でないミスが生じた場合は、ある程度の時間は考慮します
4. 呼ばれた後20秒以内にスタート位置についてください。
5. スタート位置に立つ前の行き過ぎたイントロダクション表現や、ステージ上での10秒を超えるデモンストレーション行為は、演技開始の前倒（プレススタート）と判断しその分の時間を差し引きます。
6. 呼ばれた後スタート位置に付くまでに60秒以上かかった場合は失格とみなされます。
7. スタンドプレイをすること。パフォーマンスを始める時又は演技終了時のポージングでのスタンドプレイは減点になります
8. 演技をする上で、本人たちとの意思とは別に何らかの妨害・異常が生じた場合、再度仕切り直しで行うことができます。
  - (ア) 誤って他のチームの曲が流れた場合。
  - (イ) 機材の故障による音楽のトラブル
  - (ウ) その他機材の異常・故障（照明機材、舞台美術、会場又は音楽）に起因する障害
  - (エ) パフォーマンス前に、メンバー以外の個人、人物、異物の立ち入りがあった場合。
9. 異常な事態が起きたときの注意  
異常事態が起きた場合は直ぐにパフォーマンスをやめてください、大会主催者側ですぐに原因を確認して再スタートとなります。但し、異常事態がメンバーと無関係だと判断されないと再スタートは認められません。
10. 演技終了後の、異常の申し出は受け入れません。

## 審査に関して

1. 審査は、10点満点で計算されます。
2. 10点の内訳は、芸術部門50%・技術部門50%です。
3. 審査は、芸術部門の審査員は芸術面のみジャッジし、技術部門の審査員は技術面のみジャッジします。それぞれの分野の合計点で順位をきめます。
  - ※例えば、振付は大変素晴らしく表現のアピール度も優れていても、スキルレベルが伴わない場合、又それとは逆にとても高度で素晴らしいスキルを1人1人が持っているも、全体の動きとして見たときに、どこかスタンドプレイ的な要素が多くまとまりが欠けているように見えた場合、総合得点では及ばない可能性があります。各部門の中でそれぞれ素晴らしいところは、素晴らしい事として評価し、いたらなかった原因も把握し次回に備えてもらうためにこのような審査の形がとられています。
4. 総合点が同点の場合は以下の順で順位が決まります。
  - 芸術点の一番高いチーム
  - 技術点の一番高いチーム
  - 全審査員のランク付けの分析
5. 審査の結果に対して、不平、不満、ゴシップを言わないこと。

## 医学上の注意事項

各チームのコーチ&責任者は参加者の健康と安全を守るために以下を必ず守ってください。

1. 各チームのコーチ及び責任者は、チームメンバーの怪我や病気を大会事務局に報告する義務があります。
2. 演技前、演技中いかなる場合でも、チームメンバーが病気や怪我で健康状態が危険と判断した場合は、大会主催者は競技への出場への断念と失格を通告します。
3. 主催者は、重症をおっているように見える選手、あるいは医学的治療が必要と見える参加者に対して参加を取り消すことができます。
4. 大会主催者は、時としてチームメンバーの参加に対し医師の診断書を要求することがあります。

## 安全対策

参加選手は、全員スポーツ安全保険又はイベント保険に加入し、万が一の安全対策に備えます。

## 参加規約

1. 本大会の参加者は、HHIの取り決めた規約、規定、指示に従い、大会に支障となる言動を取らないこと。
2. 本大会は、国際的かつ世界レベルの大会です。参加者はその事を意識し責任ある態度(マナー)で臨むこと。
3. 参加者は、自分の健康に責任を持つこと。
4. 参加者はスポーツ安全保険又はイベント保険に加入します。  
競技中及び大会内で怪我をした場合、保険範囲内での補償はいたします。ただし、保険対象外の治療費、通院費は自己で負担し、大会主催者に請求しないこと。
5. 万一事故が起きても、常識を超えて大会主催者側を非難しないこと。
6. 本大会中の、所持品の盗難、紛失物、破損に関しては一切責任を負いかねます。各チームごとの管理を心がけ、主催者側に対してそれらの責任を迫及しないこと。
7. 競技に使用した音楽を著作権の問題から、VTR作成時などにやむをえず差し替えることがありますが、その場合の曲の選択権利は主催者側に帰属します。  
※主催者側で、著作権的に問題のない曲に差し替えさせていただきます。
8. 本大会参加者の肖像権は、主催者に帰属します。したがって、本大会のビデオ、DVDの販売、広報活動(テレビ、映画、ホーム・ビデオ、インターネット、ラジオ、プレス・リリース、メディア等)の二次利用物に使用するための撮影、録画、記録及び使用の場合の著作権は主催者側に帰属します。
9. 各部門の優勝者は、次の大会までの間主催者側の企画等に優先的に協力すると共に、本大会チャンピオンのタイトル使用权は主催者に帰属します。
10. 参加費のキャンセル払い戻しはいたしません
11. 本大会会場内へのビデオ、カメラの持ち込み及び撮影は一切禁止しています。
12. 大会当日の注意事項を守ってください。

## 追記

※以下世界大会適応ルール&規約

### 練習時間に関して

大会が始まる前に、各チームがステージ上でルーティン、音合わせのリハーサルが最低1回はできるような機会を設けます。

### 競技の流れに関して

世界大会では参加者はエントリーの総数によりますが、**予選、本戦と最高2回踊れます**。各、決定事項に関しては競技が始まる前に、時間に充分余裕を持って大会主催者から参加者全員に伝えられます。

### 予選⇒決勝

- 1~10メガクルーチーム 5チーム
- 11~20メガクルーチーム 8チーム
- 21以上メガクルーチーム 10チーム

### 振り付け&ルーティン変更※

予選通過後、決勝それぞれの音楽と、パフォーマンスを変更することは可能です。